

授業科目	観光フランス語					単位	2		
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO21324J		
開講年次	3・4 年	開講時期	前期	該当DP	DP5-2				
担当教員	村上 舞								
授業概要	フランス語圏へ旅行した際に必要なツーリズム・フランス語を学ぶことを目標とします。フランス語の初級文法、語彙、表現などを学習し「使えるフランス語」を身につけ、コミュニケーション力を高めると同時に、フランスの豊かな文化的背景について理解を深めます。リスニングをしたり、エクササイズを用いて短い文章を作ったり、文化的トピックを取り上げながら、場面を想定してペアで会話練習を行います。授業では、学んだことをペア会話やアクティビティといったみなさん同士の実践を中心に進んでいきます。「使う楽しさ」を味わいながらフランス語の基礎を身につけ、フランス語の世界に親しみましょう。								
学生が達成すべき行動目標	1. フランスでの添乗業務を遂行する場で必要とされる基本的なフランス語が理解できる。 2. 「話す」、「聞く」、「読む」、「書く」というフランス語の運用能力をバランスよく身につけることができる。 3. フランスの文化・習慣・社会的知識についての基本的な知識を習得している。								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート 外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	40	15	0	10	15	20	100		
知識・理解 (DP1-1)									
知識・理解 (DP1-2)									
知識・理解 (DP1-3)									
知識・理解 (DP1-4)									
思考・判断 (DP2-1)									
思考・判断 (DP2-2)									
関心・意欲 (DP3-1)									
関心・意欲 (DP3-2)									
態度 (DP4-1)									
態度 (DP4-2)									
態度 (DP4-3)									
技能・表現 (DP5-1)									
技能・表現 (DP5-2)	40	15		10	15	20	100		
技能・表現 (DP5-3)									
具体的な達成の目安									
理想的レベル				標準的なレベル					
フランス語圏における観光名所やカフェやマルシェといった実用的な場面(食事や買い物)で、自分の言葉で会話を展開し、相手とコミュニケーションをとることができる。フランスの基本情報(地図、観光名所、文化、生活など)を理解し、説明できる。				簡単な日常会話をすることができ、自分の意思を必要最低限伝えられる。ゆっくりであれば、相手の話していることを理解できる。フランスについての基本情報(地図、観光名所、文化、生活など)をある程度理解できている。					
授業計画									
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	
1	オリエンテーション, あいさつ, パリの建築物, アルファベ			グループワーク (GW)		復習: 該当部分の復習		30	

2	自己紹介1, 綴り字と発音1, 数字, フランス語の看板	GW	復習: 該当部分の復習	30
3	自己紹介2, 綴り字と発音2	GW	復習: 該当部分の復習	30
4	「パン屋で買い物をする1」(パンの名前, 冠詞)	GW	復習: 該当部分の復習	30
5	「パン屋で買い物をする2」(ユーロ, 買い物の会話)	GW	復習: 該当部分の復習	30
6	「パリを観光する1」(ノートルダム寺院, 国籍・職業を言う)	GW	復習: 該当部分の復習	30
7	「パリを観光する2」(年齢・持ち物を言う)	GW	復習: 該当部分の復習	30
8	「好きなものごとについて話す1」(凱旋門とエッフェル塔, 動詞)	GW	復習: 該当部分の復習	30
9	「好きなものごとについて話す2」(趣味の語彙, 疑問文)	GW	復習: 該当部分の復習	30
10	「マルシェで買い物する1」(パリの地下鉄, マルシェとスーパー)	GW	復習: 該当部分の復習	30
11	「マルシェで買い物する2」(飲食物の名前, マルシェの会話)	GW	復習: 該当部分の復習	30
12	「美術館で感想を言う1」(パリの美術館, 形容詞)	GW	復習: 該当部分の復習	30
13	「美術館で感想を言う2」(別れの挨拶, 曜日, 月)	GW	復習: 該当部分の復習	30
14	「レストランで食事をする1」(食事の流れ, メニュー)	GW	復習: 該当部分の復習	30
15	「レストランで食事をする2」(注文する, テーブルマナー), まとめ	GW	復習: 該当部分の復習	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	フランス語 1, 2 を履修し終わっていると, より理解が深まりやすいです。			
テキスト	・「なびふらんせ1ーパリをめぐるー」(有富智世ほか, 朝日出版社, 2016 年, ¥2,500 円+税) ・プリント配布			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	web なびふらんせ { http://navifr.fj.tokoha-u.ac.jp/wnf/ }			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	毎回新しい事を学んでいくので, 遅刻や欠席をすると授業についてこれなくなるおそれがあります。遅刻・欠席をしないよう気をつけましょう。フランス語ができれば旅行の経験がより豊かなものになることは間違いありません。楽しみながらフランス語の知識を増やしていきましょう。			
達成度評価に関するコメント	試験(口頭・筆記), 小テスト, 提出物の内容については授業中に指示します。			